

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 月 華

作成日: 平成 29 年 3 月 25 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議は、参加者の日程調整から始め、多忙な参加委員が集まれる日時が限られているので、参加委員の再構築を図り、2ヶ月毎に集まれるように年間計画を立て、参加委員の親睦も図っていく。	参加委員を民生委員や地域で活動している有識者、知見者から募り、会議がホームの運営や、地域貢献に繋がる運営推進会議を目指していく。	12ヶ月
2	22	馴染みの人や場との関係継続の支援	利用者の重度化が進み、友人や知人の高齢化で面会も少なくなり、馴染みの場所にも出かけることが困難になってくる中で、家族に出来るだけ面会をお願いし、利用者の生きがいに繋げていく。	家族に相談したり、過去のアセスメントから、利用者の馴染みの人や場所を読み返し、利用者の希望を引き出して、長年築いてきた馴染みの人間関係や、地域との関わりが、継続出来るように取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。